

～ スティックキャッチ ～

活動の様子



スティックキャッチの様子

取り組む課題

スポーツの三間(仲間、空間、時間)の減少が社会的な課題となっており、多様なスポーツ機会の提供が必要とされている。本事業は、大学とNPOが協働し、子どもたちへのスポーツ機会の提供を通じて、体力向上やスポーツへの関心を高めることが期待される。



看板

本学(学生)の役割

うみえーるあおぞらオータムフェスにおいて、学生が主体となって企画したスポーツ体験ブースの出展を行う。企画内容の検討、準備などはすべて学生が行う。また、NPOとの企画会議や各種調整についても学生が主体となって行う。

企画・活動概要

NPO法人スポーツクラブ21はりまが主催するうみえーるあおぞらオータムフェスにおいて、学生の企画によるスポーツ体験ブースとして、スティックキャッチを実施した。スティックキャッチはプレイヤーの目線の上に吊された10本のスティックがランダムに落ちてくるのを地面に落とさずにキャッチするものである。当日は、あいにくの雨でイベントは中止となったが、急遽、会場に隣接している体育館内のロビーにスティックキャッチの設置を行い、体育館の利用者延べ120名に体験をいただいた。

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

本事業を通じて、学生は企画立案から準備、当日の運営までを主体的に担い、実践的な企画力・運営力を身につけた。特に、天候不良という想定外の事態に直面する中で、クラブ側と代替案を検討する中で、問題解決能力や判断力が大きく向上した。
また、NPOとの企画会議や調整業務を学生自身が担ったことで、地域団体と協働する際の責任感や社会性、実務的な調整力の向上、コミュニケーション能力を養うことができた。



学生が作ったポシェットの販売

経緯・背景・目的

本学と連携協定を結んでいる播磨町から、地域スポーツイベントを学生の力で盛り上げてほしいという依頼があり、事業がスタートした。子どもがメインターゲットのイベントであることを前提として、企画の検討を行った結果、「スポーツを好きになるきっかけづくり」をコンセプトに設定し、地域の子どものスポーツへの関心を高めることを目的とした。

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



人間社会学部
人間健康学科
講師
与那覇 秀勲(ヨナハ ヒデキ)

<専門・担当科目等>
スポーツ経営学 担当科目「スポーツ組織論」「スポーツ施設マネジメント」等

<関係者・企業等>

NPO法人スポーツクラブ21はりま
理事
近藤 良慈(コンドウ リョウジ)